

第1 学年体育

評価の観点		評価の方法
知識及び技能	・ 自己の技能を精一杯発揮している。 ・ 授業を取り組む中で運動の特性に応じた技能の向上が見られる。 ・ 個人的技能や集団的技能を記録会や試合などで発揮することができる。 ・ 正しく正確に準備・整理体操を行ったり、ルール通りに審判や試合を行うことができる。 ・ 授業で行った技能を実践的に使えているか。 ・ 運動の特性、競技やルール、審判の方法を理解している。 ・ 安全や健康に対する基礎的な事柄が理解できている。（服装や身なり、場の設定、事故やケガの予防法） ・ 自己やグループの能力に応じた、技能・体力の高め方を理解できている。（課題の選び方、練習の仕方）	●各種目に応じた基礎技能のテスト評価 ●運動の能力だけでなく、授業で学習した技能を活用出来ているかを評価。 ●仲間と共に協力し、集団として作戦を考えたり、実行出来ているか。 ●授業で学んだ知識を活用しているか。 ●技能テスト及び筆記テストにおいて理解度、習熟度を評価
思考力・判断力・表現力等	・ 運動の特性に応じて、自己やグループの能力に適した運動を考え、工夫している。 ・ 自己やグループの課題解決を目指し、練習方法やルール、作戦などを考え、工夫している。 ・ 指示をよく聞き準備・片付けを素早く正確に行い、活動場所や器具の安全を確認するなど事故やケガの予防を考え活動している。 ・ 準備体操・整理体操など効果を意識して真面目に行っている。	●準備や片付け、その他授業の進行に関する協力性。 ●提出物の状況 ・ 提出物の内容の評価と提出状況の評価
主体的に学習に取り組む態度	・ 自ら進んで運動し、仲間と協力しながら最後まで粘り強く取り組んでいる。 ・ 集合や整列など素早く行い、指示を集中して聞くなど、規律をもって授業に取り組んでいる。 ・ 日頃から健康管理に努めるなど、欠席・見学・忘れ・遅刻をせず、授業に参加している。 ・ 勝敗や審判の判定、記録の結果などを公正な態度で受け入れている。	●授業に対する取り組みの状況 ・ 見学、欠席数、忘れ物の状況 ●補強運動、準備体操に対する取り組みの状況、取り組み姿勢 ・ 準備体操の正確さ、声、熱意 ●競技に対する取り組みの姿勢 ・ どの種目に対しても意欲的、積極的に活動出来ているか。仲間と協力し、授業を進める姿がみられるか。 ★毎回の授業中の活動の様子から評価する。

指導計画

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
内 容	体づくり運動 (集団行動・ラジオ体操等)	器械運動 (マット運動)	ハンドボール (ゴール型)	バレーボール (ネット型)			ダンス (現代的なリズム)	陸上競技 (長距離走)	サッカー (ゴール型)		
	新体力テスト	陸上競技 (短距離走等)	ソフトボール (ベースボール型)	陸上競技 (短距離走等)			陸上競技 (長距離走)		バスケットボール (ゴール型)		
保健（健康な生活と病気の予防①、心身の発達と心の健康）／体育理論（スポーツの多様性）											

他学年との競技場所の関係により種目順が変更する場合がある